

広報 しばた



早春に咲く、もうひとつの桜 「サクラソウ」

四日市場地区の斎藤園芸では、17~8度に保たれたハウスの中で丹精込めて栽培されたサクラソウの出荷作業が行われています。花の形が桜の花に似ていることからその名がつけられたサクラソウ。色とりどりに咲くサクラソウは、春がすぐそこまで来ていることを教えてくれます。



成人式を盛り上げてくれた実行委員の皆さん

特集 1

新しい時代へ
ハタチの門出

柴田町成人式

1月12日(日)、船岡中学校を会場に成人式が挙行され、華やかな振り袖や、凛々しいスーツに身を包んだ新成人が、夢と希望、決意、そして、今まで育ててくれた家族への感謝を胸に大人への一歩を踏み出しました。

今年の新成人は、平成11年4月2日から平成12年4月1日に生まれた485人(男性303人、女性182人)で、式典には284人(男性157人、女性127人)が出席しました。

式典で滝口町長は、「新しい社会においてどんな環境に置かれても自分なりに生きていける力を身に付けて、前向きに人生を歩み始めてほしいと願っています。ぜひ、希望と一緒に自分の信ずる道突き進んでください」とそれぞれの道を歩みだした新成人へエールを送りました。

関生涯学習課 TEL 55-2135

20歳のメッセージ

成人というひとつの節目を迎えるにあたり、この世の中の20年間で、振り返ってみました。それは、一言で表すならば「激動」であると感じました。

直近では、昨年10月の台風19号による災害が挙げられます。この災害の爪痕は修復されつつありますが、私たちの心の修復、そして、さまざまな災害への対応、対策を成し遂げて、初めて完全な復興であると言えるのではないのでしょうか。この復興は、成人を迎えた、私たちの使命だと思えます。私たちは、新しい時代に向けて挑戦し続けなければなりません。時には、新し

いことに挑戦することを恐れることもあると思いますが、恐れず挑戦し続けましょう。

私たちはそれぞれの道へと進みます。道中で悩んだら、共に歩む仲間たちがいること、ここまで私たちが支えてくれた家族がいることを思い出してください。楽しい時も悲しい時も、常に一緒にいてくれたお父さん、お母さん、たくさん迷惑かけました。今までも心をお忘れずにあります。まだまだ未熟な私たちではありますが、着実に前に進み続けることを誓い、成人のありさつとします。



新成人代表
さいとう けいすけ
齋藤 奎佑さん

※一部抜粋



20歳のメッセージ



新成人代表
いたばし 板橋
みどり 碧さん

今の私があるのは、先生方や地域の皆さまからのたくさんの愛情、何事にも一緒に悩んでくれた友人、そして、いつも応援し、ここまで育てて支えてくれた家族のおかげです。本当に心から感謝しています。

私たちが、新成人としてまだまだ未熟で、学ばなければならぬことがたくさんあります。今後、それぞれの道で活躍できるように努めて参りますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

※一部抜粋

特集②

職員の給与と定員管理について公表します

「柴田町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、町職員の給与および職員数などについてお知らせします。

職員の給与については、国の人事院勧告や県人事委員会勧告を参考に、町議会の審議を経て、条例などにより定めることになっています。



☎ 総務課秘書職員班 TEL55-2111

✉ general-affairs@town.shibata.miyagi.jp

※町職員の給与や勤務条件・職員数などの詳しい内容および人事行政の運営などの状況については、町ホームページでご覧になれます。

①人件費の状況（平成30年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 平成31.3.31現在	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考) 平成29年度の人件費率
37,704人	128億8,483万円	8,556万円	21億6,361万円	16.8%	18.0%

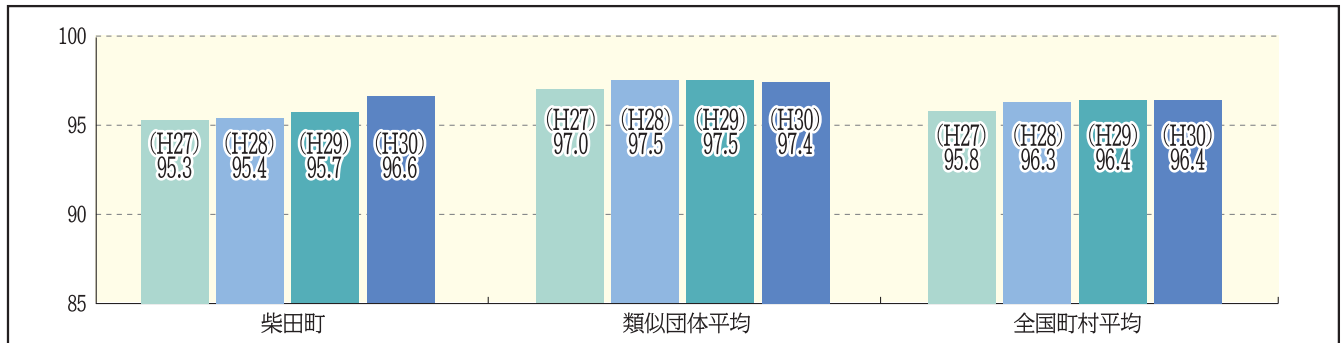
(注) 人件費とは、一般職、特別職に支給される給与、共済負担金、退職手当負担金、災害補償費などをいいます。

②職員給与費の状況（平成30年度普通会計決算）

職員数 A	給 与 費				1人当たり給与費 B/A
	給 料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
282人	9億7,539万円	1億1,841万円	3億7,268万円	14億6,648万円	520万円

(注) 1 職員手当には退職手当を含みません。
2 職員数は、平成30年4月1日現在の人数です。

③ラスパイレース指数の状況（各年4月1日現在）



(注) 1 ラスパイレース指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。
2 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレース指数を単純平均したものです。

④職員の平均年齢、平均給料月額状況（平成31年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	平均年齢	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額
柴田町	43.2歳	307,423円	55.6歳	272,340円
宮城県	42.2歳	319,979円	52.1歳	309,394円
国	43.4歳	329,433円	50.9歳	287,312円

⑤期末・勤勉手当の状況（平成30年度支給割合）

区 分	支給割合
期末手当	2.60月分
勤勉手当	1.85月分

(注) 職制上の段階、職務の級などによる加算措置があります。

⑥職員の初任給の状況（平成31年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職		技 能 労 務 職	
	大卒程度	高卒程度	高卒程度	中卒程度
柴田町	180,700円	148,600円	146,000円	130,400円
宮城県	188,400円	154,000円	151,800円	135,100円
国	180,700円	148,600円		

⑦退職手当の状況（平成31年4月1日現在）

区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たり 平均支給額
自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.709月分	
勸奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.709月分	47.709月分	

（注）退職手当の1人当たり平均支給額は、平成30年度に退職した職員に支給された平均額です。

⑧特別職の報酬などの状況（平成31年4月1日現在）

区 分	給 料		報 酬		
	町 長	副町長	議 長	副議長	議 員
報酬などの月額	904,000円	700,000円	387,000円	329,000円	313,000円
期末手当	2.95月分（平成30年度支給割合）				

⑨部門別職員数の増減状況（各年4月1日現在）

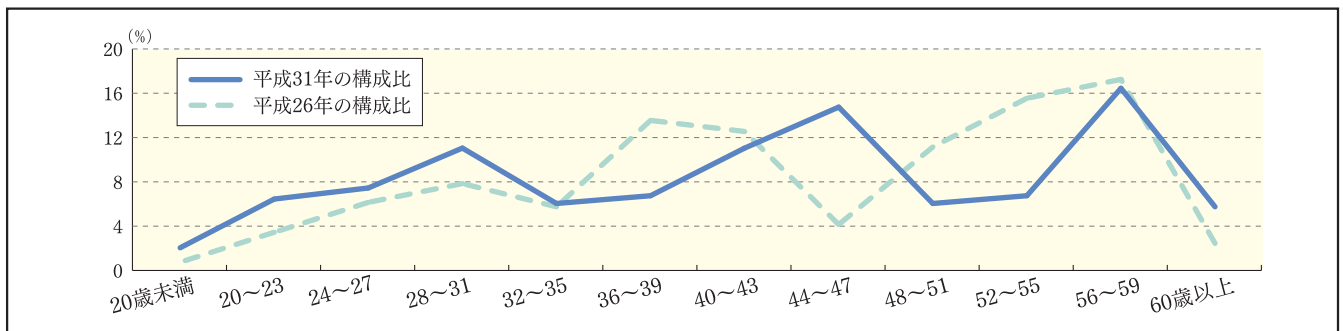
（単位：人）

区分		一 般 行 政								
		議会	総務	税務	農林水産	商工	土木	民生	衛生	小 計
職員数	平成31年	4	61	15	11	6	21	85	18	221
	平成30年	4	66	15	11	6	22	90	20	234
	対前年増減数		△5				△1	△5	△2	△13

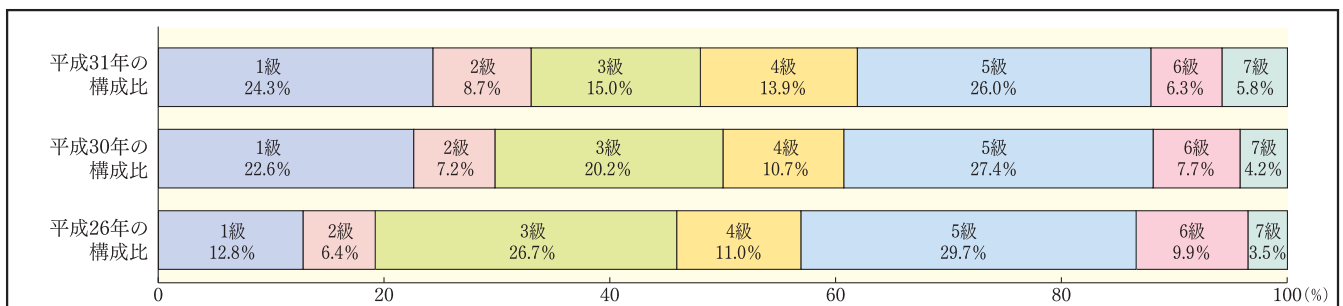
区分		特別行政	公営企業等会計				総合計
		教育	水道	下水道	その他	小計	
職員数	平成31年	50	4	6	16	26	297
	平成30年	48	5	5	15	25	307
	対前年増減数	2	△1	1	1	1	△10

（注）職員数は、一般職に属する職員数です（自治法派遣職員を除きます）。

⑩年齢別職員構成の状況（各年4月1日現在）



⑪一般行政職の級別職員数などの状況（各年4月1日現在）



（注）教育長を除き、自治法派遣職員を含みます。

令和元年台風19号に関する 住民の皆さんの声にお答えします

これまでに住民の皆さんから、昨年の台風19号に関する町の対応状況などへの
ご意見を数多くいただきました。いただいたご意見の中から一部をご紹介します。
今回いただいた、住民の皆さんからの貴重な声を、今後の災害への対応など、
安心・安全なまちづくりのために生かしていきます。

■ 総務課 TEL 55-2111

水害に対する町の 対応状況などについて

これだけ被害があったのに、町は「天災なので何も
しない」では済まされない。
今まで水害対策を何もして
こなかったからではないか。
できることからすぐに取り
組むべきである。

これまで、槻木下町2・
3丁目、槻木西3丁目、船
岡南1丁目、大住町、剣水・
剣塚、東船迫1丁目での改
修工事や槻木五間堀の河川
改修、普通河川の浚渫など

の水害対策を毎年実施して
います。

今後、局地的な冠水地
区においては、側溝の浚渫
や常設ポンプの設置などを
計画的に行っていく予定です。

町は観光事業より生活を
守ることを最優先に取り組
むべきである。

平成30年度に消防・防災
にかけた経費は、4億77
74万5千円で、観光事業
にかけた経費は1億195
5万9千円となっています。
観光事業を展開すること
で、柴田町の知名度が高ま

り、令和元年12月31日現在
で、町への「ふるさと納税」
による寄附金は約6億2千
万円となり、平成30年度の
2億344万円を超えまし
た。観光まちづくりを進め
ることで、新たな資金が確
保でき、その分、水害対策
などに回し、安全を確保し
ているのです。

今後も観光まちづくりを
推進することで、さらに
「ふるさと納税」の寄附金
を増やし、財源を確保して
いきます。

平成22年発行の町の防災
マップで東船迫地区は浸水
区域ではなかったが、県の
洪水浸水想定区域図では浸
水区域になっている。違う
のはなぜか。

洪水ハザードマップは、
白石川は宮城県、阿武隈川
は国土交通省が作成してい
ます。平成27年に水防法が
改正され、浸水想定区域図
の対象が、100年または
150年に一度の大雨から
1000年に一度の大雨へ
と、想定し得る最大規模の
降雨に見直されました。

町の防災マップの洪水ハ
ザードマップは、平成22年
水防法の改正前の基準に基
づき、河川管理者である国
や県が作成したものです。
新たな町の防災マップは、

法改正後の基準に基づき国
や県が作成した洪水ハザー
ドマップを掲載しますので、
今回から、国や県と同じ浸
水区域になります。
新たな防災マップは全戸
配布し、2月15日(土)、16
日(日)に説明会を開催しま
す。

防災、減災で最も基本と
なる自助、共助を災害発生
時に生かすためには、地域
防災計画が極めて有効であ
る。柴田町においても早急
に策定すべきではないか。

行政区単位での地域防災
計画に基づく避難行動は命
を守る上で有効です。地域
でのリスク要因を確認しな
がら策定する、地域防災計
画の有効性を呼びかけてい
きます。

各地区での水害発生 の状況などについて

国や県に対し、排水機場
の設置や河道の掘削を要望



町の新しい防災マップ



台風通過後の古河水門へつながる排水路

するのか。古河水門排水口付近での倒木や土砂の撤去や浚渫、国道4号バイパスから古河水門までの浚渫を早急に行うべきではないか。

古河水門への排水機場の設置は、国や県に要望していきます。

古河水門の吐口部付近の支障木の伐採やごみの撤去作業については、大河原土木事務所において2月末までに実施することです。国道4号バイパスから古河水門までの排水路については、土地改良区と相談の上、浚渫していきます。

西船迫3丁目の県営住宅付近や4丁目の西船迫5号・6号公園付近一帯は、最近の大雨時に冠水するようになった。緊急に排水対策が必要なのではないか。

西船迫3丁目付近は、排水能力を高めても、その先の排水管全ての口径を大きくしなければならぬため、現状においては、抜本的な対策は困難です。西船迫4丁目の5号公園付近は、水害の原因を追究していきます。西船迫6号公園付近は地下に水脈があるため、工事を行うことで周辺住宅への影響が懸念され、対応が困難な状況です。今後、局地的な対応策や計画的な改修策を検討し、改修工事に向けた調査を実施していきます。

松ヶ越（サニータウン）への出入口が冠水し、二日間身動きがとれなかった。火災や緊急事態に対応できるように、どこか一カ所でも

道路を嵩上げし通行できるようにすべきではないか。

遠島地区内の町道松ヶ越4号線については、平成22年度に道路を一部嵩上げする工事を行いました。東日本大震災後、槻木耕土全体が地盤沈下し、大雨時に通行できなくなる箇所が多くなっています。

今後、どの道路の嵩上げが有効なのか、事業費や国の財政支援などを考慮しながら検討していきます。

事前に冠水の状況の把握や排水ポンプの設置など、どのようにしていたのか。

町では、10月9日（水）から町内の水門、常設ポンプ施設、スクリーンなどの点検のため巡回を行っています。さらに、災害協定を結んでいるリース会社に対し、排水ポンプなどの手配や排水作業委託業者に対しても排水作業の準備を行うよう指示しました。12日（土）には、午前中から町内を5班



台風接近前に行われたポンプの設置（西住地区）

体制で随時巡回し、危険箇所の警戒、常設ポンプ排水施設周辺の障害物の除去を行うとともに、動作確認も行っています。さらに、西住地区・槻木西3丁目・東船迫地区それぞれに仮設の排水ポンプ車を配置し、強制排水に努めました。また、国土交通省にも下名生須川前地区に排水ポンプ車の要請を行い、排水作業にあたっていただきました。

今後も国土交通省や各委託業者との連携を強化し、効果的な排水に努めます。

避難情報の発信状況について

町からの避難情報はマスコミヤ携帯電話、ホームページで提供されたが、スマートフォンなどを使わない高齢者などに町の情報は伝わったのか。屋外拡声器や広報車の巡回は行ったのか。

テレビ、ラジオ、緊急速報メール、町の配信メール、ホームページ、消防団による広報活動、自主防災組織、民生委員・児童委員および婦人防火クラブなどによる各家庭への呼びかけを行いました。屋外拡声器や広報車によるアナウンスは、一つに、豪雨の雨音が激しく、また、住宅の気密性が高まり聞こえないこと、二つに、水位が一気に上昇したため、屋外拡声器がある場所に近づけなかったことや道路が冠水したことから行いませんでした。

今後は、防災行政無線のデジタル化や遠隔操作で一斉放送を可能とする屋外拡声器のデジタル化を図ります。また、消防団、自主防災組織、婦人防火クラブ連合会、民生委員・児童委員などによる「声かけネットワーク」を構築します。

10月12日(土)午後8時30分に緊急避難の緊急速報メールが出され、水や食料、毛布の持参を呼びかけられた。なぜこのようなメールをこの時間に出す判断をしたのか。

水や食料、毛布などの持参を呼びかけたのは、雨が小降りだった10月12日(土)午後2時30分、「避難準備・高齢者等避難開始」発令の際でした。午後8時30分に発令した避難指示(緊急)の緊急速報メールでは呼びかけを行っていませんので誤解があったようです。台風などによる水害の場合、事前に避難が必要とさ

れる日時が予想できるため、今後も、避難に際しては、一日分程度の食料、水などは自分で準備していただくようお願いします。

また、避難所の開設が長期化する場合には、良好な生活環境の確保やプライバシー保護など、避難所の質を高めていきます。

テレビなどのメディアや緊急速報メールなどによって台風19号に対する注意喚起を行っていたが、より具体的に地名を特定して避難勧告などを行うべきではないのか。

避難情報については、危険度の高まる地域や地名で周知させることで、より避難をスムーズに進められることは確かです。しかし、日頃から地域の土砂災害警戒区域などに対する認識が薄いため、具体的に地名などで勧告をされても、何の警戒区域なのか想定できないこと、一方で勧告されな

い地域の住民は安心感を持ち、災害への危機意識が薄れてしまうといった問題点があります。

今後は、住民や自主防災組織との意見交換を通じて、災害が切迫した状況での避難情報の共有化について検討していきます。

10月13日(日)は、バイパスや旧国道4号が冠水し通行ができなくなり、町内が一日中混雑していたが、ラジオなどから道路情報が発信されなかった。町で通行止めなどの道路情報を公表できないか。

災害における道路の状況は、冠水、土砂崩れ、交通事故などさまざまな事態が発生し、目まぐるしく交通環境が変化します。そのため、国道、県道および町道の交通情報を町で一元的に把握し、リアルタイムでドライバーに情報提供することは困難です。今後、国道や県道を管理

する各道路管理者に対し、適宜、通行止めや渋滞などの状況について、報道機関や町に対し適切な情報提供が行われるよう、交通情報の共有化を図る方法について、申し入れを行っていきます。

避難所の設置および運営方法について

10月12日(土)午後7時に避難勧告、午後8時30分に避難指示が出されたが、3万人以上の住民に対し、開設した避難所の数が少なかったのではないか。

12日(土)午後1時に優先避難所6カ所を開設し、午後7時に避難勧告を出した後、3カ所を追加し、合計9カ所を開設しました。開設した避難所の収容人数は2690人、実際に避難所を利用した人は1373人で、利用率は51%でした。今後、避難所については、台風の動向を注視し、

明るいうちに開設し、住民に知らせる方法を徹底していきます。避難所が不足する場合は、町内全ての小中学校の体育館や船迫こどもセンター、しばたの郷土館を避難所として順次開設します。それでも不足する場合は、柴田高等学校、大河原商業高等学校、仙台大学を避難所として開設します。



避難所(船迫生涯学習センター)で不安な夜を過ごす住民の皆さん

「避難所の閉鎖が早すぎた」という声がある。どういう理由で10月13日(日)午後5時に閉鎖するとの緊急速報メールを出したのか。

避難所の閉鎖については、13日の12時に「午後5時で閉鎖する予定」とのメール配信を行いました。理由は、一つに13日の午前11時20分に土砂災害警戒情報が、午前11時52分に大雨警報がそれぞれ解除されたこと、二つに11時現在で9カ所の避難所のうち4カ所の避難所で利用者がゼロとなり、残った方は270人と少なくなりました。また、各避難所で避難していた方に対しては、もし家に戻れない場合は避難所を継続する旨を伝えていましたので、13日の午後5時の時点で、槻木、船岡、船迫の各生涯学習センターに計131人の利用者がいました。避難所は、15日(火)午後6時に船岡生涯学習センターを最後に閉鎖しました。

今後は、台風の影響から身を守るための一時避難所と発災後、生活を再建するまでの長期的な生活の場となる長期避難所の違いにつ

災害ごみなどへの対応について

災害ごみの集積所について、知っている人と知らない人との情報格差が大きく不公平感が出ていた。対応を行政区に任せるとした町の姿勢に問題があったのではないかと。

町の災害ごみ置場は、ごみ分別の徹底、便乗ごみの排除、不法投棄防止のため管理がしやすい旧トッコン跡地の一カ所としました。しかし、行政区から、「災害ごみを旧トッコン跡地まで運べない」という住民の声に応えるため、各公園を仮置場にしたいとの申し出がありましたので、行政区での管理責任を条件に認めたものです。一方で、一部の住民が無断で公共スペースに災害ごみを置いたところが町の仮置場と間違えられ

てしまいました。町が情報格差をもたらしたものではありません。なお、第30区では、住民が協力し合って、各家庭からの災害ごみを旧トッコン跡地に直接搬入したため、地域に仮置場はありませんでした。

今後、各地区における災害ごみの仮置場の設置および管理について、住民の皆さんと意見交換を行う必要があると考えています。

畳上げや軽トラックがない中での旧トッコン跡地への災害ごみの搬出は、一人暮らし、二人暮らしの高齢者では困難なので、役場で手助けすべきではなかったのか。

災害が発生した直後に個々の家から出される災害ごみを搬出することは、現在の職員体制からして困難ですので、災害ボランティアセンターの活用など、いわゆる共助(互助)での対応をお願いせざるを得ません。

今後、各家庭からの災害ごみの搬出方法については、各行政区や住民の皆さんと協議してまいります。



災害ごみを運ぶボランティアの皆さん

仮置場の災害ごみはいつになったら撤去されるのか。

現在の仮置場は、旧トッコン跡地と農村環境改善センターの2カ所です。農村環境改善センターの仮置場のごみを旧トッコン跡地に集約し、3月31日までは全て撤去する計画となっています。

台風19号による災害対応等に関する住民懇談会

令和元年台風19号による災害対応状況等について住民懇談会を開催します。

また、住民の皆さんが災害から命を守るためのマイ・タイムライン(避難行動)等を掲載した柴田町防災マップの活用方法についての説明も行います。

日時・場所

2月15日(土)

午前10時

槻木生涯学習センター

2月15日(土)

午後1時30分

船岡生涯学習センター

2月16日(日)

午前10時

船岡生涯学習センター

・2時間程度を予定。

・事前の申し込みは必要ありません。都合の良い会場にお越しください。

・2月上旬に柴田町防災マップを全戸配布しますので、ご持参ください。



柴田町長 滝口 茂

まだ、寒さが厳しい早春の時期ですが、館山には福寿草や寒紅梅が咲き、いよ四季折々に美しい花園が幕明けします。

さて、館山ですが、かつては領主の館や軍事拠点として、戦後は食糧の生産の場として、そして昭和45年にNHK大河ドラマ「樅ノ木は残った」が放映されてからは、観光地として、多くのの人々と関わりを深めてきました。

私の幼い頃の館山は、現在と様相が大きく異なります。三ノ丸に登る道は、御館橋からと今は無くなってしまった、東正門から折り返しの坂を登る道しかありませんでした。

また、テニスコートや三ノ丸駐車場は、谷を埋めて造られたもので、旧勤労青少年ホーム付近は石切り場でした。そこは私にとって、ガマガエルを捕まえる格好の遊び場となっていました。

山頂には、東京タワーを真似た三角すいの小さな展望台があって、そこから眼下に広がる白石川や阿武隈山地、太平洋を望むと、心が晴れ晴れしたものでした。

昭和45年以降の館山は、観光地として脚光を浴び、年間100万人もの観光客を魅了するまでになりましたが、長続きせず、その後はひっそりとした時間が流れることになりました。

館山の移ろい

私が再び館山と関わったのが、平成9年、大河原地方振興事務所振興室長として、柴田町さくららの会による「桜植樹千本達成記念式典」に出席した時です。その時初めて、先輩や後輩が桜によるまちづくりに汗を流していることを知り、先輩から「机の上ではまちづくりはできないよ」と戒められたことが、私の政治家としての出発点となっています。

平成14年に町長になってからは、「花のまち柴田」の魅力を国内外にアピールするために、「樅ノ木は残った展望デッキ」や「しばた千桜橋」などの観光基盤の整備を行い、さらに、桜以外にもレンギョウ、ハナモモ、紫陽花、彼岸花が咲く里山ガーデンづくりに取り組んだ結果、昨年の桜まつりには約7600人の外国人の皆さんに、春の彩りを堪能していただきました。

このように、私にとって館山は、切っても切り離せない人生舞台となっています。思い通りにならないことがあれば、あの山頂からの眺望が、私を励まし、力を与えてくれます。館山との関わり合いは、時代とともに異なったとしても、これからも、館山は人々の営みを見守ってくれるものと思います。

まさに、館山は柴田町のシンボル、住民の心のよりどころなのです。

しばた歴史探訪

第5回 妙高山大光寺と柴田氏歴代の墓

船岡南1丁目

創建は室町時代の後期でしたが、その後、戦国時代の天文16年(1547年)に再興されたというのが、お寺に伝わるところです。船岡を治めた柴田氏の菩提寺で、柴田家代々(5代朝意以下現在に至る)の墓所があります。

江戸時代前期、柴田氏は登米市東和町米谷の領主で、大光寺もともに米谷に移っていました。柴田氏は寛文事件(1671年)後に旧領の船岡に所替えになり、大光寺も現在の地に戻りました。

江戸時代後期の明和年間(18世紀後半)、この地方に疫病がはやりました。人々の苦しみを目の当たりにした大光寺14世環中道一和尚は、自ら五百羅漢像を彫り、本堂裏に岩窟を作り、納めました。これを供養すると、疫病が治まったと伝えられています。五百羅漢は、町指定史跡となっています。

また、山門を入った左手の庭園には、この和尚が建立した「月夜塚」があります。和尚は、確花坊也(まこと)と名乗るよく知られた俳人で、同郷である松尾芭蕉を慕って、「名月や池をめぐりて 終夜」の句を刻んだ碑を立てたものです。

もうひとつ忘れてはいけないものが、「大光寺のイチヨウ」(町指定天然記念物)です。江戸時代末期の文政6年(1823年)、本堂が焼失した際に、このイチヨウも炎に包まれましたが、翌春に芽吹き、町の人々を喜ばせたと伝えられています。



大光寺山門



本堂裏の岩窟にある五百羅漢像

問 しばたの郷土館 ☎ 55-10707



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ64

健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第64回のテーマは「受動喫煙防止」についてです。

「受動喫煙」とは、喫煙者の周りにいる人が、自分の意思に反してたばこの煙を吸ってしまうことです。たばこの煙は健康に多くの悪影響を及ぼします。わが国では、受動喫煙が原因である脳卒中、虚血性心疾患、肺がん、乳幼児突然死症候群の病気で年間1万5千人が死亡していると推計されています。

大人への健康被害

脳卒中、肺がん、食道がん、胃がん、乳がん、虚血性心疾患、狭心症 など

子どもへの健康被害

乳幼児突然死症候群(SIDS)、気管支炎、喘息の発症・重症化、虫歯 など

マナーからルールへ

平成30年7月に健康増進法が改正され、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、マナーからルールへと変わりました。令和2年4月1日より全面施行となり、公共施設や多くの人を利用する施設、飲食店は受動喫煙の対策に、より一層努めなければなりません。

多くの施設において
屋内が原則禁煙に



20歳未満の方は
喫煙エリアへ立入禁止に



屋内での喫煙には喫煙室の設置が必要に

喫煙室には標識掲示が義務付けに

禁煙に取り組みましょう

受動喫煙を防止するためには、禁煙が一番の近道です。

1. 禁煙治療を利用しましょう

医療機関での禁煙治療は、禁煙補助剤を使い、自力で禁煙する場合に比べて、「比較的楽に」、「より確実に」そして「あまりお金をかけずに」、たばこをやめられます。健康保険適応になる場合もあります。

2. 自分に合った禁煙方法を探しましょう

毎月1回、保健センターで「禁煙相談」を実施しています。生活スタイルや喫煙状況に合わせた禁煙方法を提案し、禁煙の継続を応援します。

3. 周囲に「禁煙宣言」をしましょう

周囲のサポートや声かけを力に、禁煙に取り組む方法もあります。

健康推進課では、禁煙したい皆さんをサポートします。

広 告

広 告

まちかど NEWS



白鳥神社から船岡小学校まで行われた分列行進

柴田町合同出初式

NEWS



消防団員により披露された実地放水訓練

1月5日(日)、新春恒例の合同出初式が開催されました。柴田町消防団、交通指導隊、防犯実動隊、婦人防火クラブ連合会から約330人が参加し、分列行進や車両行進、初期消火訓練などが行われ、町民の安全・安心を守る決意を新たにしています。

消防団の平間泰夫団長は、「今年も思いがけないような災害が起こるかもしれないので、日頃から訓練を重ね、頼れる消防団として磨きをかけていきたい」と話していました。

図書館の児童コーナーがリニューアル

NEWS



早速、絵本を読む親子の姿が見られました。

1月7日(火)、柴田町図書館の児童コーナーがリニューアルオープンし、お話し会などのオープニングイベントが行われました。

新しくなった児童コーナーは、他の図書スペースと丸窓のついた壁で仕切られ、子どもたちが気兼ねなく本を楽しめるようになりました。

お子さんと来館した但木さん(槻木)は、「児童コーナーが仕切られたことで、周りに気を遣わずに子どもに読み聞かせできそうです」と話してくれました。

広 告

広 告

柴田町民新春交歓会



新春を祝い、和やかに懇談が行われました。

1月8日(水)、新春交歓会が、ホテル原田inさくらを会場に開催され、町内の企業や団体、各行政区から300人を超える方々が出席されました。

年頭の挨拶で滝口町長は、「時代の流れに取り残されないよう、みんなで力を合わせ、にぎわいを生み出せるような活気のあるまちづくりに取り組んでまいります」と述べました。

出席者は、新年の挨拶を飛ばしながら、町のさらなる飛躍を願いました。

民話を聞く会

1月17日(金)、西住小学校で、1～3年生を対象に民話を聞く会が行われました。

「柴田かたりべの会」から3人の方をお招きし、成田地区などに伝わる3つの民話を話していただきました。児童らは、町内に伝わる民話があることに驚いていたようでした。

坂下僚君(3年)は、「昔の言葉も出てきて難しいところもありましたが、面白かったです。特にやまんばの民話が面白かったです」と話してくれました。



子どもたちは、方言などを交えた語りに聞き入っていました。



空に凧が舞うと、大人も子どもも大喜びでした。

親子凧作り、凧上げ体験会

1月18日(土)、太陽の村で、凧作り、凧上げ体験会が開催されました。

8組の親子が参加し、「みどりの会柴田」の方々から指導を受けながら、ダイヤ型の凧を作り、思い思いの絵を描いた凧が完成すると、外で凧上げをして楽しみました。

母親と妹と3人で参加した福嶋隆太君(4歳)は、「前日の日から楽しみにしていました。凧がちゃんと飛んでよかったです」と話していました。

広 告

広 告



こうほう 文芸

俳句

蔵王風始発の電車の音を消す

船岡 可沼 妙子

ふんだんに具を刻みたり雑煮餅

西船迫 佐藤 厚子

夜干し靴情知らずの夜半の雪

船岡 安藤 節子

初夢や大鳥の化身姫となり

中野西範子

川の面の蔵王としはし冬帽子

石垣テル子

淋しさの淵に光りし冬桜

制野 千秋

砕け散る波濤の眩し初松籟

遊佐 徹

若布売り声潮染めるアーケード

山家美智子

月冴ゆる北の大地の煌煌と

三塚 直樹

初御空ともあれ背筋伸ばしけり

及川美沙子

星冴ゆる滅びる星に生れし星

若月ノリ子

雪虫や淋しがりやの子に戻る

大久保和子

肩籠の反古の山から初日の出

浪山 克彦

温暖化雪なき冬を喜べず

西船迫 安ヶ平奈津枝

川柳

おごられしランチ焼肉子のポーン

西船迫 安ヶ平良三

わんちゃんもみんな着いるネコ半天

船岡 小林 夢子

電子音親でもないのにシャツペする

四日市場 鳥井崎七十老

早朝の月の明かりの影法師

西船迫 H・G

さざん花は寒にまけじと笑っている

船岡 阿部美代子

今年こそ良い年来るぞと神だのみ

榎木 加藤 マサ

影法師僕より先に俺が居る

榎木 平間 三郎

シクラメン窓辺に太陽ふりそそぎ

花もほっこり令和の初冬

友の家貰い火うけて焼失す

西船迫 下浦 智子

励ます言葉頭にうかばず

船岡 可沼 妙子

去年今年暮れに飾りし梅擬

年明け生花の麗しきけり

榎木 平間 三郎

新年に腕をためして考えて

社会を歌い初投稿し

西船迫 安ヶ平良三

老齢重ねなす事全て「ゆつくりと」

これから先も自然体で

ご近所のお歳暮フルーツおすそ分け

あつたか人情気持ちほっこり

パンの耳持った孫連れ白石川へ

「なんていないの」白鳥の群れ

一片の雲の動きにありし日の

いとし愛犬の面影を見ゆ

船岡 本船迫 森田 眞六

沢田 順子

俳句・川柳・短歌に興味があり、こうほう文芸に載せたい方は、はがきなどで2月13日(木)まで応募ください。 〇 まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

広 告

広 告

広 告



令和元年度の小・中学校生の主な活躍 (管内および県における受賞など・敬称略)

船岡小学校

- 県防具付空手道選手権大会形小学生低学年の部 第3位 齋藤 運(2年)
- 県民体育大会女子小4以下50M平泳ぎ 第2位 渡邊 愛莉(4年)

東船岡小学校

- 仙南地域広域行政事務組合「仙南地域ごみダイエット 絵画・標語コンクール」
絵画の部 最優秀賞 後藤 沙也佳(6年)

船迫小学校

- 県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール 優秀賞 我妻 菜々美(4年)
- 県青少年読書感想文コンクール 部長賞 岩間 悠生(4年)

槻木小学校

- 科学の甲子園ジュニア県予選 第2位 高橋 心響(6年)・村上 舞桜(6年)・佐藤 奈桜(6年)
- 青少年のための県民議会家庭の日ポスター 優秀作品賞 高橋 煌生(2年)
- 河北新報社「新聞記事コンクール」 優秀賞 山本 淳司(6年)・播磨 湊斗(6年)

船岡中学校

- 県中総体柔道男子団体 第3位 柔道部 ○県中総体柔道男子個人 第3位 大谷 龍真(2年)
- 県中総体柔道女子団体 第3位 柔道部 ○県中総体柔道女子個人 第2位 勅使瓦 杏(3年)
- 県選抜ソフトテニスチャンピオン大会女子団体 優勝 ソフトテニス部

槻木中学校

- 県管打楽器ソロコンテスト 金賞 植野 紗羅(3年)
- 人権作文コンテスト宮城県大会 仙台法務局長賞・全国大会奨励賞 村上 みさき(3年)
県中学校長会賞 高階 凜(3年)
- 英語弁論大会管内大会 最優秀賞 木曾 登萌江(3年)
- ヴィクトワールパレエコンペティション 中学生の部 第3位 福田 寧珠(2年)
- 全国書画展覧会 金賞 菊地 晟太郎(2年)

船迫中学校

- 県中総体水泳女子100M背泳ぎ第2位 200M背泳ぎ第3位 豊川 蓮音(2年)
- 県中総体新人水泳女子50M背泳ぎ第2位 100M背泳ぎ第2位 豊川 蓮音(2年)

船岡小学校6年 佐藤 結南
県民体育大会ソフトテニス競技6学年女子の部ペア優勝

私は2年生の頃からテニスを始めました。始めたばかりの頃は、大会の予選を勝ち抜くことだけで精一杯でした。勝ち上がる選手のプレーを見ては、「私も絶対、強くなるぞ!」と思って日々の練習に励んできました。今では努力が実り、全国大会にも出場できるようになりました。



今の目標は、残り少ない小学校の大会で優勝し、中学生としても自信をもってプレーできるようにすることです。練習をたくさん積んで、実現できるように頑張りたいと思います。

船岡中学校2年 柔道部 部長 吉野 琉功
県中総体新人柔道男子団体 優勝

私たちは、昨年7月の県大会団体戦で3位に終わり、悔しい思いをしました。今回、その大会で負けたチームと決勝戦で対戦し、優勝することができました。来年度は、「おごることなく、感謝の気持ちをもって頑張してほしい」という町長さんの言葉を励みに、チームの心を一つにして、全国大会出場を目指します。



中学校や仙台大学の先生方や先輩方、家族など、お世話になった方々に感謝し、自他共栄を胸に頑張ります。

船迫中学校3年 幕田 里咲
東京2020オリンピック聖火ランナー

正直なところ、今でも聖火ランナーに選んでいただいたことが信じられません。柴田町の代表として聖火をつなぐ一員とされたことを誇りに、これまで支えてくださった多くの方々に恩返しをするつもりで、感謝の気持ちを笑顔に変えて一歩一歩、精一杯走りたいです。



この聖火ランナーという貴重な機会を通して自分自身の成長につなげたいと思います。そして、2020年、夢に向かって駆け抜けていきます。

広 告

広 告

自信をもってお客様のニーズに 応えられるように日々勉強中

東北積水樹脂株式会社

関 佑弥さん（22歳）

今回は、道路標識や交通安全用品の製造を行う東北積水樹脂株式会社の関佑弥さんを紹介します。



昨年4月に新卒として東北積水樹脂株式会社へ入社した関さんは、一時停止などの交通標識やカーブミラー、交通安全用品、路面標示材など、私たちが道路を安全に走行するために欠かせない製品の営業マンとして奮闘しています。

「今は全てにおいて勉強中です。お客様へ当社の製品を提案する力や、製品に対する知識など、乏しい部分がたくさんあり、自信をもってお伝えすることができていません。上司と二人で営業に出ています。お客様へ自信を持って製品を説明する上司の姿や、コミュニケーションスキルはとても勉強になります。やはり自信を持って説明できない人からは購入しようとは思わないですからね」と話します。

それでも少しずつ担当する取引先が増えてきたそうです。「自分が営業した道路標識が立っているのが気になって見に行ったことがあります。設置された標識を見たときには、嬉しくて思わず一緒に

に居た友人に自慢してしまいました」と話してくれました。

これからの目標を伺うと、「まだ分からないことが多く、上司から丁寧に仕事を教えていただいています。恵まれていると感じていますし、感謝しています。その期待に応えられるよう早く自立し、自信をもって製品を提案できるようにになりたいと思います」と話してくれました。

上司の方からも、「今後は製品知識を習得するために工場内で製造過程を学んでもらおうと考えています。また、ゆくゆくは地域に貢献できる人間になってもらいたい」と期待を寄せられていました。

お話を伺っている間、終始笑顔で穏やかな印象を受ける関さんですが、休日には大学から続けているバンドのボーカルとして、ライブハウスや路上で歌声を披露しているそうです。

これから社会人としてさまざまな経験を重ね、お客様に信頼される営業マンを目指して頑張ってください。



路面標示材の施工状況を確認する関さん



東北積水樹脂株式会社

柴田町大字四日市場字二本木86-1
TEL56-5510

積水樹脂株式会社の開発した交通安全用品および標識板の製造を主目的に昭和45年に設立。平成5年に名取市より移転。道路標識や路面標示材の製造販売を行う。従業員34人。

人口と世帯数

(令和2年1月1日現在)



37,597人
(前月比35人減)



18,744人
(前月比26人減)



18,853人
(前月比9人減)



15,836世帯
(前月比15世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。